

(社) 日本建築学会
戸建て住宅の振動特性 WG 第 12 回議事録 (案)
兼 振動特性調査 SWG 第 12 回議事録 (案)

- A. 日 時： 平成 30 年 3 月 29 日 (木) 14:30-17:30
B. 場 所： 森林総研 北棟第 3 輪講室
C. 出席者： 国松主査 他 9 名
D. 資料：

| 番号 | 内容 |
|-------|---|
| 12-0 | 20171204 第 11 回 WG 議事録 (案) .docx |
| 12-1 | 第 2 回カナダビルディングセミナー.pdf |
| 12-2 | 2017CLT アイディアコンテスト.pdf |
| 12-3 | 2018 年大会原稿-案 1sk-修正.docx |
| 12-4 | 辺長と振動数.ppt |
| 12-5 | 42-3 号特集主旨説明資料.pdf |
| 12-6 | 42-3 国松 180303.pdf |
| 12-7 | AIJ36_3 (濱本) .pdf |
| 12-8 | AIJ36_7 (濱本) .pdf |
| 12-9 | パワポ計測.pptx |
| 12-10 | パワポ設計.pptx |
| 12-11 | 居住性能評価規準本文・解説案 180123 査読用.pdf |
| 12-12 | 居住性能評価規準付録案 180123 査読用.pdf |
| 12-13 | 180322_枠組壁工法による 6 階建て実大実験棟の 周囲振動・外部振動による振動計測の詳細検討.docx |
| 12-14 | 今後の作業に向けた整理.ppt |

※資料に関しては学会ストレージに保存しています。上記資料でアップロードをしていない方はアップロード願います。
オブザーバーはストレージに入れられないため、WG 終了後データ送付にて共有します。

E. 議事内容：

1. 森林総研実験住宅見学

2011 年竣工の実験住宅を見学。約 60 分 (移動時間除く)

- ✓ 実験住宅の施工記録、部材 QR コード管理システム、計測内容 (柱軸力、室内温熱、木内装材の生理的反応)、建物の特徴 (土間の蓄熱、厚物合板を耐力壁、床に使用) などについて紹介をいただいた。

2. 第 11 回 WG 及び SWG 議事録 (案) 確認 …資料 12-0

- ✓ 7. 森林総研実験住宅の紹介 (木本) → (杉本) へ修正し、その他は承認された。
- ✓ 環境振動評価小委員会見える化 WT からのアンケート回答の宿題を受けたが、その結果に関しては、現在 WT メンバーによるアンケート実施を含め、データ整理中。

3. 委員及びオブザーバーについて

- ✓ 杉本委員への幹事依頼が承認された。
- ✓ 川本委員は委員活動継続が難しいため委員を解嘱し、今後はオブザーバーの立場で協力して頂くことになった。
- ✓ 三菱地所ホームからのメンバー選出は難しいため、断念する。

- ✓ 木住協からの委員参加について、木住協の逢坂氏（住友林業）に杉本委員を通して打診した。その結果、オプザーバーの守時氏（住友林業）が委員になり、木住協との窓口となる。
 - ✓ 2×4 協会との連絡窓口は当面国松とする。CLT 協会についての窓口は木本委員にお願いする。
4. 第2回カナダ・ビルディング・イノベーション・セミナーの紹介 …資料 12-1,2
- ✓ 3月6日にカナダ大使館にて18階建て高層ハイブリッド木造ビル「ブロック・commons」構造設計担当者を迎えてのセミナーが開催された。
 - ✓ 今後、このようなWGに関わるセミナー情報などがあれば事前に情報を共有し、参加された方がいれば内容の共有を図りたい。
5. 2018年大会（東北）原稿の内容共有 …資料 12-3,4
- ✓ 本WGで収集した居住者からの振動発生申し入れ建物データの分析を昨年に引き続き発表する。
 - ✓ 内容は、振動源の構造（高架、盛土、平面、切土）を切り口に、振動源区分、建物までの距離、建物内での振動発生方向のまとめと、建物1階の辺長と振動数の関係をまとめたもので原稿を作成した。
 - ✓ 建物の卓越振動数の求め方は、伝達関数や建物内でのフーリエスペクトル等、分析方法は異なる。
 - ✓ 今後のデータ分析には統一させることが望ましいので、本ワーキングで調査方法や分析方法などの整理をすることも検討する。
 - ✓ 環境振動測定小委員会内のWGで測定マニュアルを作成中であるので、その内容の共有を考える。
 - ✓ 表1,2の字体が違うので、どちらかに合わせる。
 - ✓ 図1の表現（2F-S、2F-W）が分かりにくいので、分かるような表現にする。
 - ✓ 4月3日には投稿するので、何かあれば東田まで連絡
6. 「騒音制御」42巻3号（2018年6月発行予定）特集企画について …資料 12-5,6
- ✓ 「地盤振動の測定とその実態」と題して、2014年に日本騒音制御工学会環境振動評価分科会で整備した環境振動測定マニュアルの概要、マニュアルに沿った測定データ蓄積状況、課題や問題点、測定事例を紹介する。
 - ✓ 測定マニュアルの対象振動源としては、道路、鉄道、工場などの振動源が対象であり、振動源から地盤振動が発生し、建物に伝わり、建物が揺れる経路を考えているので、「環境振動」とせず、「地盤振動」とした。
 - ✓ 「設計指針」で検討されている建物のモデル化について、戸建て住宅に関わる解析パラメータを統一的方法で収集し、統計的に代表値を求めることを今後検討していきたい。
 - ✓ 環境振動測定小委員会内WGで作成中の測定マニュアルを参照しながら、戸建て住宅向けの測定マニュアル作成を検討する。また、上記解析パラメータ収集のための測定マニュアルの作成も検討したい。
 - ✓ 次回、環境振動測定小委員会内WGで作成中の測定マニュアルを入手し、本WGでの共有を図る。
7. その他 提出資料について …資料 12-7 ~ 14
- ✓ 12-7 ~ 10の設計指針については、次回濱本先生より進捗状況を紹介いただく。
 - ✓ 12-11,12は、評価規準の査読用原稿で、査読は終了し4月13日にWGで修正案を作成予定。
→2018年11月8日（木）に設計規準の講習会開催を予定している。
 - ✓ 12-13は、昨年発表した建築研内6階建て実大実験棟の計測結果の続編としての大会投稿原稿
 - ✓ 12-14は本WGの今後の検討の方向性を件とした前回提出資料
 - ✓ 建築研内6階建て実大実験棟で計測された床振動測定内容、結果については、2×4協会と内容調整中。次回富田委員から報告予定。
8. 次回
参加メンバーが少ないため、後日調整にて決定とするが、
6月中～下旬開催を予定する。

以上